

## 2019年度 公認審判昇級試験の概要

一般社団法人日本ボッチャ協会  
審判委員会

### 1、A 級審判への昇級試験

- 筆記試験－日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2 より 50 題程度出題する。
- 実技試験－以下の観点にて審判員の所作が適切に行われているか、大会の中でチェックする。

項目	主な観点
コールルーム	・ 選手と上手くコミュニケーションを取りながら、必要な情報を得たり提供したりする。
ウォームアップ	・ スムーズに進行し、並行して試合開始に向けての準備をする。
エンド実施中	・ 規定のジェスチャーやアナウンスを用い、選手に配慮した立ち位置や動作で試合を進行する。 ・ アウトボールやペナルティボール、反則行為や突発的な問題に対して冷静かつ迅速に対応する。
エンドとエンドの間	・ 時間内に次エンドの準備を整え、タイミングを見計らい次エンドを開始する。
エンド終了 試合終了	・ 採点、得点のコールなど規定のジェスチャーを交えてスムーズに終了させる。
ランダムチェック タイブレイク	・ 適格な動きで選手を導き、線審の協力を得ながらスムーズに進める。
その他	・ 審判に相応しく毅然とする。 ・ 選手への配慮を常に意識した態度で試合に臨む。 ・ 上記各項目にない、特に審判員として感心すべき様子がある。

### 2、B 級審判への昇級試験

- 実技試験のみ実施(同上)

### 3、合否判定

- A 級昇級試験一次の 2 つの基準を両方ともに満たした場合に合格とする。
  - ① 筆記試験の正解率が 90%を超える。
  - ② 実技試験の観点の各項目について、審判委員会の複数の目により A 級審判員として十分に技量が達していると判断できる。
- B 級昇格試験一次の基準を満たした場合に合格とする。
  - ① 実技試験の観点の各項目について、審判委員会の複数の目により B 級審判員として十分に技量が達していると判断できる。

### 4、合否通知

- 試験終了後8月中旬までに全受験者にメールで通知する。